



四日市看護医療大学

四日市看護医療大学同窓会報

Vol.4

平成28年10月20日 発行
四日市看護医療大学同窓会事務局

ごあいさつ

四日市看護医療大学同窓会書記 平成24年度卒業 北森 史佳

今回、四日市看護医療大学同窓会会報のごあいさつを担当させていただきます、3期生の北森です。私たち3期生は、看護職として現場に出て4年が経ちます。病院や地域など様々な場でそれぞれの力を発揮し、活躍しております。経験年数を重ねていく中で、プリセプターなど、人に教えてもらう立場から人に教える立場となり、「指導する」ということの難しさを実感しながらも、患者さんや後輩から様々なことを学び、日々成長させてもらっています。看護の現場は何年経っても日々勉強、日々成長なのだと思改めて感じています。

私は助産師として産婦人科病棟で働いています。新たな命の誕生、新たな家族の第一歩となる瞬間に携わることができるこの仕事にとってもやりがいを感じています。看護職は人の生と死に直面する仕事なので、時に辛く悲しい思いをすることもあります。しかし、対象者とその家族に関わる中でその方々の人生の一部、人生の重要な瞬間に立ちあうことができ、私たちの方が笑顔や元気をわけてもらっているなど感じます。今後は対象者とその家族に寄り添い、笑顔と元気を与えられるような看護職になっていきたいです。

さて、私たち同窓会役員は引き続き暁学園同窓会への参加、同窓会の企画・実行をしていきます。次回同窓会は4年後の平成32年を予定しています。昨年の同窓会に参加された方も、されなかった方も、次回参加していただくと嬉しいです。役員が中心となって企画していきますが、なにかご意見・ご要望などございましたら各学年の同窓会役員を通してご連絡下さい。卒業しても変わらず皆さんが顔を合わせられる場、当時の思い出を振り返りながらお互いを高め合える場、お世話になった先生方にお会いできる場、同窓会をそんな機会として継続していけるよう、引き続きご協力をお願いします。それぞれ現場での皆さんの活躍を願いつつ、4年後に同窓会の場でお会いできることを楽しみにしています。



将来の看護発展の 担い手として、卒業生の 皆様に期待します！

杉崎 一美 教授



卒業生の皆様、お元気でしょうか？2007年開学時から今年で10年目を迎えました。私が着任したのは2010年10月で、大学も4学年揃い、初めての国家試験と卒業、大学院開講の準備へと活気に満ち溢れている頃でした。それから6年が経過し多くの卒業生の皆さんは病院、地域それぞれの医療現場において活躍されていることと思います。

成人看護学領域では実習施設として市立四日市病院と三重県立総合医療センターを利用させていただいています。実習現場で卒業生をみかけますと内心ほっとし、また後輩へのサポートや的確なコメントを頂けた時には卒業後の成長と共に頼もしさを感じます。また雰囲気の後輩たちを気にかけて頂いていることも感じます。そのことは不安を抱えながら実習をしている学生にとっても心強い励みになっています。このように同窓会は繋がっていくのだと感じています。

医療現場は日々発展し、看護学も大学での学びだけでは対応できないこともあります。時々大学の図書館を利用する卒業生もみえて、職場の様子など話したり書籍の相談など受けることもあります。

県外で就職されている皆さんには、学会、勉強会や看護職の集まりでお会いすることもあります。懐かしい顔を見かけると、つい声をかけています。

新設大学であるため、同窓会も自分たちで作れるという楽しみもあると思います。今後の同窓会活動に期待しております。次回、東京オリンピック開催年(2020)の同窓会には多くの皆さんにお会いしたいと思います。私にとっても卒業生は何よりも代えがたいものになっています。

四日市看護医療大学は 好きですか？

東川 薫 教授



自信を持って「大好きです!!」と言える方もいるでしょうし、中には、ほろ苦い思いを抱く方もいるでしょう。私の経験から言うと、この母校への思いは、時間とともに変わります。それも、卒業当初、たとえあまり良くない印象を母校に対して抱いていたとしても、それは不思議と時間の経過とともに、良い思い出に変わるものです。その理由はまず、卒業後、周りの同窓生との交流の中で母校への思いを新たにしていくということがあり、それに加えて、本学についての社会的評価の変化にも影響されるものです。

特に本学はまだ、開学10年余しか経っていません。幸い現在まで、卒業生の方々は各方面でりっぱな実績を積んでいただいておりますが、今後、本学に対する評価は、まだまだこれから実績が積み重ねられて行く中で、ますますより良い方向に向かっていくことが期待されます。

このようなことを考えると、本学の教職員、在校生は、本学の内容の質の向上に不断の努力をしていくことは当然ですが、これは単に自分たちのためのみならず、同時に諸先輩方のためでもあるということに思い至ります。

本学のイメージカラーは皆さんご存じのようにオレンジです。しかし、本学の真の校風(カラー)を形造っていくのは、これからです。そして、それを担っていくのは、すべての卒業生、在校生、教職員ひとりひとり、つまりあなたです。

卒業生の皆さん！ いつも『笑顔(EGAO)』 を忘れずに！

栗原 喜代子 講師



卒業生の皆さん、お元気で過ごしてですか？今年、本学開設10年目の節目となりました。私自身は、就任7年目を迎え、1期生の皆さんから実習を担当しましたので、地域看護学実習記録を読み返し、これまでを振り返ってみました。

1期生の皆さんは、不安の多い新米教員でしたが、暖かく応援いただきました。健康教育の場面は、今でもくっきりと覚えています。2期生の皆さんは、様々なテーマの健康教育等にチャレンジしていただきました。3期生の皆さんは、同じ日に3か所の実習先を回りながら一緒に学んできたことが、今では良い思い出です。4期生・5期生の皆さんは、地域診断等の実習プログラムに挑戦する様子が一つ一つ目に浮かびます。6期生の皆さんは、新カリキュラムによる保健師選択コースがスタートし、全員で乗り越えていく姿が思い出されます。

実習期間中は、講義以上に、学生さんお一人お一人とふれ合い、深いかかわりをさせていただき、私自身が皆さんから多くを学び、支えられてきました。皆さんと一緒に学べたことに心から感謝いたします。そして、1期生から、毎年数名の保健師が誕生し、活躍されていることも、何よりも心強く、誇りに思っております。

現在、様々な看護職場で頑張っておられる卒業生の皆さんにお伝えしたいこと、それは、「いつも『笑顔(EGAO)』を忘れずに！」ということです。『笑顔』は、「門笑来福」の言葉通り、自分自身だけでなく、患者様をはじめ周りの方々に幸せ(来福)にします。困難なときこそ、妙薬である「笑顔づくり」で乗り切り、本学の卒業生としての誇りを持って、職場、家庭等の場でご活躍されることを祈念しております。

大学の現況

今大学は変革期を迎えています！

教授 豊島 泰子

卒業生の皆さんお元気ですか？四日市看護医療大学（本学）も2011年3月に第1期生を送り出し、その方々も医療機関に就職され今年6年目のベテランの看護職としてご活躍のことは、本学教職員一同本当に嬉しい限りです。本学は毎年卒業生の就職率はほぼ100%で、卒業生の60%以上が三重県に就職し、公務員としての就職に強い大学としてランキングの上位に位置しています。それも卒業生の皆様方の努力の賜物だと思います。

今日本の大学は変革期を迎えています。本学も看護職を目指して入学される学生さんと卒業された皆様方が卒業後も学びやすいよう環境づくりに努力している所です。

卒業生の皆様方もそれぞれの場所で看護の専門職としてたくさんの経験を積まれたことと思います。“経験知”は皆さんの今後の糧となります。常に初心を忘れず、対象者の立場になり良い支援ができるよう、加えて皆様方が人として成長されること願っています。

最後に、悩み・相談がありましたら母校を思いだし、いつでも遊びに来てください。皆様方のそばには応援者がいることを忘れないでください。

大学院にチャレンジ！

教授 福原 隆子

卒業生の皆様、お元気でご活躍のことと思います。さて、現在、医療の発展に伴い、人々のニーズが多様化する中で、看護職に対する期待が高まっています。本学大学院修士課程では、「修士論文コース」と「専門看護師（CNS）コース」を設け、人々の複雑な健康問題の解決に積極的に取り組み、社会の要請に応えることができる高度な専門知識・技術を身につけた人材の育成に努めております。本学大学院では、働きながら学ぶ専門家の方々のために、夜間開講や長期履修制度を設けております。また、本学卒業生の方々は、入学金・授業料の半額減免制度が受けられます。

これまでの実践を整理したい、新たに力を発揮するために必要なスキルを身につけたい、自分自身の成長のために頑張りたい、研究する力をアップしたい、など、看護学の探索・探究に意欲を抱かれている卒業生の皆様、それぞれの夢の実現に向けて、ぜひ大学院にチャレンジしてみてください。教員一同、心よりお待ちしております。

新任教員

【平成28年4月】

石村由利子教授（小児）、小林美奈子准教授（老年）、鈴木里美講師（基礎）

【平成28年9月】

大川明子教授（成人）

【平成28年10月】

豊田妙子准教授（成人）

退任教員

【平成28年3月】

山本美佐子教授（小児）、稲佐郁恵准教授（母性）、草川好子准教授（基礎）、押本由美講師（基礎）、緑恵助教（成人）、石川康代助教（母性）、川島珠実助教（老年）

第8回

よんよん祭

10月29日(土)
30日(日)

10/29
Sat

お笑いライブ！

開場10:30 / 開演11:00
場所 3号館 観覧無料(要整理券)



ロバート



しずる



アンダーポイント

※出演者は、都合により変更する場合があります。

今年度で10回目を迎える本学大学祭、四日市大学と合同で行う「第8回 よんよん祭」を10月29日（土）30日（日）に開催いたします。今年度のテーマは「Peace ~begin with a shining smile~」です。大学祭実行委員では、皆様に笑顔になっていただき、平和が訪れることを願って、さまざまなイベントをたくさん用意しました。その中のイベントのひとつとして、今年もナースボランティアを行います。内容は手指衛生体験、ハンドマッサージ、看護に関するクイズをします。大学祭実行委員一同、卒業生の皆様のご来場を心からお待ちしております。

その他、
看護体験、模擬店、
じゃんけん大会、
〇×クイズ、
カラオケ大会など



同窓生メッセージ

達 晴香 (平成26年度卒業)

私は、松阪市民病院の外科病棟で働いています。外科病棟は、消化器、呼吸器、泌尿器、歯科・口腔と手術をされる様々な科の患者様を対象に、術前・術後の看護を提供しています。1年目は日々の業務の流れを覚えること、看護技術を覚えることで一杯でした。しかし、2年目となり任される仕事が増えましたが、日々の忙しさの中にも心に余裕を持ち、仕事ができるようになりました。まだまだ至らない点も多く、わからないことも多いですが、日々学び、患者様に信頼される看護師になれるよう頑張っていきたいと思っています。

田路康恵 (平成26年度卒業)

私は、市立四日市病院の産婦人科病棟で助産師として働き始め、2年目を迎えることができました。日々の業務にも少しずつ慣れ、仕事の楽しさや、やりがいを感じるようになってきましたが、自身の技術や知識の乏しさに反省することも多く、患者さんとの関わりの中で学ばせてもらっています。また、学生時代に学んだアセスメント能力や退院後の生活を見据えた指導がいかに大切かを実感しています。その人にとって必要な看護が提供できるようこれからも頑張っていきたいと思っています。

横井(現 松尾)あゆみ (平成23年度卒業)

大学を卒業し、保健師として働き始めて4年半が経ちました。2つの自治体での保健師経験を経て、現在は三重県桑名保健所で保健師として働いています。主担当である難病在宅ケア事業を始め、精神保健福祉事業や窓口等の業務に携わっています。

日々の業務を通して、特に家庭訪問では生活に深く触れるため気を遣いますが、対象者の方は自然体で接して下さるため関係性が築きやすいです。また、そこで把握したニーズに応えようと自分にできることに取り組み、必要に応じて適切なサービスにつなげることで地域での生活の充実に繋がることが実感しました。

実習中に体験したことが、今は当事者になり実施していく立場に変わりプレッシャーはありますが、感謝の言葉を頂いた時はとてもうれしいです。保健師として、県民の生活の充実に貢献できるようこれからも頑張っていきたいと思っています。

サロン
MIE

サロンMIEは卒業生、本学在学学生に“地域や大学への愛着を育んでもらう”ことを目的に、平成27年3月に三重県からの補助を受け、B館(9号館)2階に開設された施設です。

卒業生の交流を図れるスペースとしても利用、また、学修の場としてはもちろん、会議など多目的にお使いできます。現在も卒業生も含めたたくさんの四看生の皆様にご利用いただいております。

今後も三重県内市町村の魅力を紹介するとともに毎月の楽しいイベントも企画しておりますので、どうぞお気軽にお越しください。今後のイベント予定やサロンMIEでのささやかな出来事をブログ(下記URL)に掲載しております。

<http://salon-mie.jp/>

『図書館の紹介』

本学図書館の蔵書は学内LANおよびインターネットを介しての検索が可能です。また、『メディカルオンライン』・『医中誌WEB』等、各種医療情報データベースの検索が可能です。さらに、他の図書館との相互貸借サービスにも加入しています。

本学卒業生の方は、これらのサービスの利用が可能です。看護研究や看護実践能力の向上にお役立てください。

蔵書貸し出しは、5冊まで3週間以内。サービス時間は、平日午後5時まで。土曜日午前10時～18時まで。(休館日等は、図書館ホームページでご確認下さい。)

決算報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

収入の部	費用	決算	備考	支出の部	費用	決算	備考
	前年度繰越金	13,964,816		同窓会会報費		151,372	印刷、郵送代等
	会費	3,360,000	卒業生112名分	卒業記念品		139,852	携帯マフ、花
	*同窓会パーティ	452,000		学園同窓会		56,324	学園同窓会
	(同窓生会費)	(213,000)	¥3,000×71名分	*同窓会パーティ		1,528,989	
	(教員寄付金)	(221,000)	24名分	(記念パーティ代)		(959,612)	都ホテル
	(職員寄付金)	(18,000)	6名分	(パーティ記念品代)		(477,884)	
	雑収入	2,239	利息	(パーティ通信費)		(91,493)	
	合計	17,779,055		小計		1,876,537	
				次年度繰越金		15,902,518	
				合計		17,779,055	

同窓会役員

会長	近藤あおい (平成22年度卒業)	安達 菜月 (平成25年度卒業)
副会長	葛谷 直樹 (平成23年度卒業)	加藤 愛美 (平成25年度卒業)
会計	小嶋 まり (平成22年度卒業)	中村 愛佳 (平成25年度卒業)
書記	北森 史佳 (平成24年度卒業)	達 晴香 (平成26年度卒業)
監査	中村明日香 (平成23年度卒業)	田路 康恵 (平成26年度卒業)
	新田 悠介 (平成25年度卒業)	利見樹良莉 (平成27年度卒業)